

3. 審議事項

(1) 長岡第七小学校校舎・体育館等改築工事

意見・質問	回答等
<p>○この入札については、保留処理となり適正履行確認審査委員会で判定となっています。その理由は。</p>	<p>・入札結果が低入札価格基準以下であったため 2 月 10 日に適正履行確認審査委員会を開催し低入札価格調査を行ったところ、工事の施工能力はあると判断され落札決定となりました。</p>
<p>○低入札価格調査額の予定価格に対する割合の範囲はどれくらいなのか。</p>	<p>・予定価格の三分の二が基準ですが、特例として 85 パーセントまで設定出来ます。この案件は、特例の 85 パーセントで設定しています。</p>
<p>○一般競争入札で JV の応募が 2 企業体ということであったが、少なくないか。</p>	<p>・JV の代表者の対象社数は 9 社で代表者以外の構成員となる市内業者数は 6 社でしたが、JV を構成し応募したのは 2 企業体でした。</p>
<p>○応札額が 2JV とも低いということについて、何か考えられることは。</p>	<p>・応札状況経過や低入札価格調査の事情聴取等から、代表者が大手ゼネコンでもあり、全国規模で安価な資材調達が可能であったと推測します。</p>
<p>○契約日が 2 月 23 日ですが、繰越事業ということか。</p>	<p>・2 箇年の継続事業です。</p>
<p>○低入札の対策を何か考えられていることは。</p>	<p>・落札額が低くなると下請け業者に負担がかかる可能性もあるので、本市では最低制限価格を引き上げることを考えています。</p>
<p>(委員長のまとめ) 入札に関する手続きや経緯については、特に問題はない。落札率が低いということについては、今後低入札を抑制するための、有効な手立てを検討する必要があるように思われる。</p>	